

学校教育目標

やさしい心でかかわり合い、進んで学ぶ高浜っ子

～一人一人に寄り添い、誰一人とり残すことのない学校へ～

たくましい子

- ・心身ともに健康な子
- ・まちがいをおそれず挑戦する子

かかわれる子

- ・相手の気持ちや立場を考えられる子
- ・仲良くなろうと自分から行動できる子
- ・友達のよいところを見つけられる子
- ・教えたり教わったりし合える子

はつらつとした子

- ・生き生きと意欲的に行動する子
- ・元気にあいさつ、はきはき返事をする子

まなびあう子

- ・目標をもって進んで取り組む子
- ・教えたり教わったりし合える子
- ・粘り強く努力する子
- ・得意を伸ばしたり、苦手を克服したりする子

現代社会の要請

- 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成

千葉市学校教育の課題

- 「わかる授業」の推進に向け、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、児童が「わかった」「できた」と、実感できる授業の創造

児童の実態

- 与えられた課題に実直に取り組む
- 友達と共に学習することが好き
- 学力の二極化・運動能力の三極化

研究主題

自分の考えをもち、豊かにかかわり合う児童の育成 ～話し合い活動や体験的な活動を通して～

研究の目的

令和2年度より施行された学習指導要領では、「生きる力」の確実な育成ため、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められている。本校においては、目指す「かかわり合う姿」を「自分の意見や考えをもち、それを言語化し相手に伝える、相手の考えや思いを受け入れる姿」とし、互いの考えを伝え合い、考えの共通点や違いを見付け、自らの考えや集団の考えを発展させることで、主題に迫っていきたいと考える。

視点と主な手立て

視点1 児童一人一人が思いや考えをもてるようになるための工夫

- ・児童の興味・関心を適切に把握して課題を設定する。
- ・発問を工夫して、児童一人一人が思いや考えをもてるようにする。

視点2 かかわり合い、学び合いを実現させるための工夫

- ・互いの考えが見てわかるようになるための工夫
- ・児童の実態に応じた学習活動の工夫

視点に関する研究方法

- ①提案授業を実施し、視点をもとに協議を行う。
- ②「高海タイム」で、日常にかかわり合う活動をする。
- ③少人数（三人グループ）での見合い授業を通して、力量を高めるとともにチーム学校としての同僚性を高める。